

授業科目 内科学（Ⅱ）

【担当教員名】 ○林	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・健康ス
	開講時期	後期	必修・選択	必修・必修・必修・選択
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

内科学Ⅰで学んだ内容を基礎として、主たる内科疾患を学ぶ。また、その応用として、老年学や老年期に特有な疾患の知識を習得する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

内科系の疾患数は膨大であり、このすべてをこの授業で理解するのは不可能である。各職種が臨床の場においてよく遭遇する疾患や、処置に注意を要する疾患について、その基礎知識を身に付けることを目標とする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	内科1 循環器疾患Ⅰ（先天性心疾患と後天性心疾患）		講義（林）
2	内科2 循環器疾患Ⅱ（刺激伝導系の異常と不整脈、心電図）		講義（林）
3	内科3 循環器疾患Ⅲ（心電図の見方；危険な不整脈、虚血性心疾患）		講義（林）
4	内科4 呼吸器疾患		講義（林）
5	内科5 消化器疾患1 消化管疾患		講義（林）
6	内科6 消化器疾患2 肝臓・胆管系、膵臓疾患		講義（林）
7	内科7 腎、泌尿器系疾患、電解質異常		講義（林）
8	内科8 内分泌・代謝疾患		講義（林）
9	内科9 血液疾患		講義（林）
10	老年病学1 老化とは、老年者の疾患の特異性		講義（林）
11	老年病学2 高齢者の循環器・呼吸器疾患		講義（林）
12	老年病学3 高齢者の消化器・腎泌尿器系疾患、電解質異常、血液疾患		講義（林）
13	老年病学4 高齢者の免疫・感染症、内分泌・代謝異常、運動器疾患		講義（林）
14	老年病学5 高齢者の感覚器障害、皮膚疾患、精神疾患		講義（林）

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	オリジナル			
参考書	ナースの内科学（5版）	越川昭三（編）	中外医学社	2001年 8000円
その他の資料	プリントで配布する。			

【評価方法】

試験のみ

【履修上の留意点】

なお、理学・作業学科は、内科学Ⅰ・Ⅱを合わせ、内科学（4単位）として評価する。